



SONY COMPUTER ENTERTAINMENT INC.

2000年3月6日

「プレイステーション 2」初回販売台数98万台を達成

株式会社ソニー・コンピュータエンタテインメント（SCEI）が全世界にさきがけて日本国内で販売を開始した、128ビット家庭用コンピュータ・エンタテインメント・システム「プレイステーション 2」（PS2）は、3月4日の発売開始時点から最初の3日間で、累計販売台数98万台を達成致しました。

PS2は、従来の販売ルートである「プレイステーション」お取り扱い店、約7,900店と全国のコンビニエンスストア約18,500店を加えた合計26,400店におよぶ広範な店舗で全国的な販売を行なうと同時に、新たにインターネット経由でのお客様への直接販売を当社が2月に設立したプレイステーション・ドットコム・ジャパン株式会社のECサイト経由で行なう事により、発売最初の週末3日間で5年前の「プレイステーション」発売時の約10倍に相当する、98万台の販売を達成致しました。

初回販売数の内訳は、既存販売ルート分が60万台で、既に各店舗で完売している状態です。これは、本日までに生産出荷した累計72万台の「プレイステーション2」本体総数の83%に相当し、販売力に裏打ちされた既存販売ルートに対し、初回生産分を重点的に配分した結果、極めて好調な販売に結びつきました。

併せて、インターネットによる販売は既に2週先のお届け分を含めて、総販売総数が38万台に達し、新たな販売チャンネルとして確実に消費者に受け入れられたものと考えています。今後、既存の販売ルート（リアルの店舗）とあわせて、お客様それぞれのライフスタイルに合わせて選択されて行くものと期待しています。

一方、本体生産出荷に関しては、本体に同梱するメモリーカードが部品の不足により10日程度の生産の遅れが生じています。この遅れは対応部品の増産により今月中に回復し、3月15日時点で累計生産出荷台数が100万台に達する予定です。その後、3月末までに140万台を生産出荷する計画です。現在このメモリーカードの部品の供給不足により、別売のメモリーカードの出荷を停止していますが、今月下旬から別売分の出荷が開始できる予定です。

「プレイステーション2」対応ソフトウェアに関しては、3月4日の発売日に10タイトル同時発売され、本日現在累計出荷枚数は130万枚に達しております。また、PS2の発売に伴いDVDビデオソフトの販売も同時に増加しており、インターネットでのDVDビデオソフトの販売枚数は取り扱いソフトウェアの約10%を占め、更に従来のDVDビデオソフト取扱店における3月4日、5日の販売数量も通常の2倍から4倍の出荷に増加致しました。

現在、PS2の品不足により多くのお客様にはご迷惑をおかけしておりますが、当社では出来るだけ多くのPS2本体を継続して生産出荷し、一人でも多くのお客様に満足いただけるよう努めて参ります。現在の月産生産能力は50万台規模の体制をとっております。

以 上